

ねんせい ねんせい
3年生・4年生

☆わたしたちのカメムシずかん☆



「カメムシ」と聞くと、どんなことを思い浮かべますか？
おそらくあまり良いイメージはもっていないのではないで
しょうか？でも、実はカメムシには、美しいものや、かわっ
た形のものなど、いろいろな種類がいて、よく見ると、なか
なか面白い生きものなのです。岩手県葛巻町にある小学
校で、そんなカメムシをみんなでさがして、調べて、
「カメムシずかん」まで作ってしまったお話です。

☆ゆいの木荘の子どもたち☆



ゆいの木荘は、100年以上も前に立てられた立派な洋
館。いまは有料老人ホームになり、サクラさんはだれかが
歌う手まり歌(時々、聞こえる歌)を耳にします。モリ/さん
に言われるまま、サクラさんがその歌を口ずさんでみる
と、ふたりは突然、子どもになってしまいました。
そう、87歳のおばあさんではなく、10歳ばかりの女の子
に…。

ほん かくかくねん ろうか
本は、各学年の廊下においてあります。
ぜひ、みなさん読んでみてください。

☆ぼくのあいぼうはカモ/ハシ☆



気の優しい男の子と、ちょっとすましたカモ/ハシの
とぼけたやりとりが、楽しいほのほのとした冒険物語。
男の子は、人間の言葉をしゃべるカモ/ハシに出会います。
ふたりのすることは、どこかとんちんかんですが
果たして、ふたりはオーストラリアまで行けるのでしょうか？

☆カラスのいいぶん☆



みちかな鳥、そしてきられものの、カラス。
ゴミをちらかす、黒くて不吉、大きくてこわい…など、
わるいイメージばかりだけど、本当はどんな鳥なのでしょ
う？カラスを愛する著者が語るノンフィクション。
この本を読めば、ゴミをちらかすきられもののイメージが
変わります！！